
空のノート

怠惰な俺

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空のノート

【Nコード】

N9825A

【作者名】

怠惰な俺

【あらすじ】

イシイ少年のお話です、すっちゃんかめっちゃんかなお話です。

第1話：その名はイシイ少年（前書き）

楽しく書いてまあヨシですね、そんでヨロシクですよ

第1話：その名はイシイ少年

朝のスクランブル・エッグを食す石井少年こと俺は上下ジャージの高校生だ　俺の朝は食パン、スクランブル・エッグ、牛乳が定番メニユーって決めてる、まさにポリシーさ　　そんな俺は周りからこう呼ばれる

『フライパンを持てば世界一』

別に料理が得意な訳でもないし、フライパン片手に泥棒を撃退した訳でもない　とりあえず世界一・・・らしい、テキトーな奴らだな　　そんな俺は最近料理に凝

っている理由はまあ、男が料理できるってやっぱ格好良いぜ、って事さ　　と云う事で買い出しだ　今日の料理の課題は肉詰め

ピーマンの調和！！なぜ肉詰めピーマン？とか、メジャーな料理を作れ！とかは受け付けないぜ　　国民の大半が嫌い（？）

と思われるピーマンを美味しい料理に変身させてピーマン嫌い（？）を直すため、でも無い！！ただ思い付いたから要するに野菜〃ピー

マンが俺の思想、　　ただ好きか嫌いかと聞かれると、普

通と答えるダロウ・・・

まあ長くなってしまったが今度こそ買い出しだ

第2話：注意事項ぶらす1人

スーパーに行くに当たって注意する事がいくらか有る！それを道
みち話そう

第1、財布を忘れない事！

まあ当然の事だが経験の有る俺から云
わしてもらえばトラウマもんだ

第2に兄弟に気を付ける！

ヤツらは一

緒についてくれば何かオゴってくれるだろう、とか考えるクレイジ
ーだからさ

第3は友達は敵！

ヤツらは狡

猾に歩みより笑顔で恐喝する極悪非道なハイエナ達だからな

「誰が極悪非道なハイエナなの？イシイ

君」

いつ、いつのまに・・・いたんだ？コイ

ツは？

「そつ、それは・・・俺の友

人A B C達の事だよ」

我なが

ら苦しい言い訳だが相手がコイツなら大丈夫

「えっ！？アルミ君とビタミンさんとコーラちゃんが！？」

ほらね、コイツばかりだからさ

「それより、今から買い物

に行くんでしょ？私も欲しいものがあるから一緒についてくよ」

「なぜ？その極秘任務を知っている」

一体何処から情報が漏れたのか？

弟からか？いや弟は都会をエンジョイしてるはず

なら姉貴かッ！でもあの人なら家で寝てたからな　そうか兄貴

か！？って俺に兄貴はいないんだった、

「えーと、イシイ宅に仕掛けてある盗聴機、全20台からの情報だ
よーイシイ君は独り言が多いからね」

「犯罪者か―貴様!!」

第3話：スーパーでお買い物

スーパーについたのは良いが、よく考えるとこのクレイジーの自己紹介してないな 名前は佐木つつて幼馴染

みのクレイジー、特技は無いが変な趣味を持ち合わせいたりする

コイツの欲しい物はろくなもんじゃないからな

「イシイ君ピーマン買っただけなら買い物
てつだつてくれるんでしょ？」

すこぶる嫌だが言い出したら拒否権は無い ヤツにとつ

て俺は都合の良い奴隷だからな

「嫌なんスけど、独りで買い物をお楽しみなさい」

一応抵抗をしてみる、もう条件反射みたいなものさ

「あつそ、じゃ明日から外を出歩けないようになるけど？どうする？」

恐っ！！

「手伝わさせて

いただきます、ところで何をご購入なさるのですか？」

「アウトドアグッズっ、あと軍手とか、
人独り吊しても千切れないロープとか、その他色々」

コイツ、キャンプ中に誰か殺る気か？

絶対コイツとはキャンプに行かねえぞ

「へ、へえ、それじゃあ先にピーマン買ってくるぞ」
「あゝい」

ピーマン選びだが、どれが新鮮とか見分けるコツと
か知らないしなあ、 まあミドリが濃いヤツでも選べば良い
だろ、あとひき肉か、確か今日は特売だったはず・・・

「ハッ！！」

ひき肉特売バージョンがラスト1個！

！ 「・・・ふふふっ、漢は燃

え上がる時がある、まさに今！！！」

タタタタッ

「フッ、もう俺を止めることは、なんぴとたりとも不可能！」

タタタタ

ッ

ひき肉との距離、約

20mぐらい！

いける！

「もらったあああ

ああああああー」

「あっ、ひき肉安いじゃんいただきー♪」

「さーせーるーかーあー」

俺は決死のダイブに全てを賭けた！

俺の周囲の人間は俺の行動（決死のダイブ）に後ずさり、ひき肉に手を伸ばしかけていた人物はこちらを見て固まっていた

いける！と、思いつつ後悔している俺は凄く滑稽だったろうな

「よっしゃあ！ひき肉、と

ったど〜〜」

俺の買い物

は終了した・・・二度とココには行かないだろう・・・

「イシイ君ってバカだね」

うるへえ〜

第4話：スーパーでお買い物（続編）

「二度も云うなよ！」

「イシイ君ってバカだね」

くそ、本当は今すぐにでも飛んで帰りたいが、佐木の買い物に付き合うつて約束したからな、帰れるに帰れないぜ（泣）

「佐木、サッサと買い物おわらせろよ、俺は早く帰りたいからさ」

「じゃあさ、アウトドアコーナーを見てこようよ」

「おう、でも人独り吊しても切れないロープとか買っつなよ」

「えーそれじゃあキャンプ中に【イシイ君が首吊って死んでる！？悩みがあれば云ってくれば良かったのに、独りで抱えこんじゃって・・・バカ】大作戦が成立しないじゃん」

キャンプ暗殺計画のターゲットは俺だ

「それ、殺した本人が云うつた！？」

セリフじゃないだろ」

「心配ないよ、計画を実行するのは鈴木

君だから」

「鈴木と俺に迷惑だから止める！話しが

進まんだろ」

「・・・ちえー（とりあえず保留にしろ）」

こ）」

そのあと

俺達はアウトドアコーナー（主にテント、ロープ類、他々）を見て

まわった

その時、佐木が今日はここに泊まると
か言い出して俺と店員さんは必死に説得したり、諦めて、サジを投
げつけたり、佐木がロープを持って冷笑したり

結局買ったのはポツキーとトツポだけだ
った・・・

《帰り道》

「結局、お菓子買っただけかよ、妙に粘り過ぎだろーが
！」

「まあまあーそうカッカせず、無事に帰
れたんだから良しとしようよ」

あーもう駄目だーすごい消耗した精神が磨耗した

もうコイツをシカトして帰ろ、うん、かえろ・・・

「ところでトツポってなんでチョココレー

トが中に入っていると思う？」

「・・・（知らん）」

「それはね中に何を入れても分からない

からだよ」

「・・・（マジかよ）」

「そう例えば、製造者の熱意と真心、あ
と99%の努力が入っていても、誰も気が付かないんだよ」

うわー、意味わからんうんちく聞かさ

れたよ 要するにトツポ1本1本に賭ける情熱を感じつつ食

せてことか？ 「って、どう

でもいいつーのー！ぶおけー！！」

「イシイ君やっとな反応したか、心停止し
たかと思ってヒヤヒヤしたよ」

本当はコイツの息の根を止めたいとこ
だが、 ようやく家についたぜ 愛しのマイ、スウィートハ
ウスー！ 俺の幸福な時間、イツツフリーダム！

楽園！ヘブン 誰にも邪魔させねえ

「あつ、夕飯ごちうになるからよろしく」もちろん断らないでし
よ?」
「帰れ——!!」

第4話：スーパーでお買い物（続編）（後書き）

話し引つ張り過ぎかな？いまだに肉詰めピーマン作ってないや

まあ引つ張るのは特徴と云う事で、今後とも、よろ

しく、

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9825a/>

空のノート

2010年12月14日18時47分発行